

# 市議会だより

大月市

平成 30 年 8 月 31 日発行 No.151

特集 桂川漁業協同組合（大月支部）×市議会



## CONTENTS

- ・特集  
【桂川漁業協同組合  
（大月支部）×市議会】…………… P. 2～
- ・平成 30 年第 2 回市議会定例会  
（主な議案の内容）…………… P. 4～
- ・議決結果等一覧表…………… P. 6
- ・代表質問／一般質問…………… P. 7～
- ・特別委員会調査報告…………… P.14～

# 特集

## アユ釣客をおもてなし 大月市の活性化を

### 桂川漁業協同組合 (大月支部)

### × 大月市議会

山中湖を水源に 109km の一級水系相模川。山梨県では桂川と呼ばれ深い緑のなかに澄み切った清流が美しく年間約5万1千人もの釣り人が訪れる名所として知られています。今回は釣りの運営を担っている桂川漁業協同組合の大月支部の役員の皆様と懇談しました。



総務産業常任委員会

・相馬力委員長 ・大石源廣副委員長  
・古見金弥委員 ・西室衛委員 ・小原文司委員

大月市の観光施策に桂川のアユを取り入れることは

行政が旗振り役になり、民間の力で作り上げることは可能

×

【桂川漁業協同組合 (大月支部)】

【市議会】

Q 桂川漁業協同組合の現在の状況と概要は。

(市議会)

・漁業組合とは漁業者によって組織された組合であり、漁業を生業として続けていくために相互に保護し合う人々の集まりでした。

しかし、現在の桂川漁業協同組合には生業として漁業を行っている組合員は、皆無に等しく、地元組合員や県外の釣り愛好者の釣り活動に便宜を図ったり、釣り場の保全を行う、観光漁業のための団体となっています。

代表理事組合長を含む理事は、18名、監事3名、平成29年12月末現在の組合員数は、2、952人。

◆漁期

・3月1日～9月末日

ヤマメ・イワナ・マス

・6月1日～11月末日

アユ

Q 漁業協同組合の活動に携わり市政に日々感じていることは。

(市議会)

・首都圏に近接し、素晴らしい自然に恵まれた山河を豊富に持つ大月市のホームページの観光案内には、首都圏の数千万人の人々に広大な自然と温かな大月の人々とのふれあいを楽しんでもらいたいというホスピタリティ精神がなく、せっかくなホームページを訪れてくれた人に大月の魅力を伝えられていません。盛大なかがり火祭りや関連イベントも重要な観光行事だが、東京からわずか1時間で得られる大人も子供も楽しめる自然を提供することが、この大月に求められていることではないでしょうか。

現在、成功している観光地は、ホスピタリティ精神をとっても大事にして、いつでもお客様が自然を楽しみたいと思ったときに、身も心も自然に溶け込んで、心身ともに自然に癒される場所を求めることに対応しています。ホスピタリティ精神とは、「おもてなしの心」であり、人と人のつながりだけでなく、人と自然のつながりから生じます。大月市の観光施策に求められるのは、いつでも大月に行



桂川漁業協同組合（大月支部）

けば、温かい人々と広大な自然もてなされ「ちよこつと行つて、また癒されてくる」という仕組みを構築することです。

私共、桂川漁業協同組合大月支部は、首都圏数千万人の癒しの場として、大月市が観光立市を目指した取り組みに全面的に協力いたします。

Q 常連客として楽しめる釣り

愛好家は年々増えていますが、トイレ・更衣室が無く女性客が増えない要因になっている。

（桂川漁業組合）

・大月市議の中にも釣り愛好家が数名おり、各地方に行く中でしっかりと整備をされているところは、女性客がかなり浸透して増えていると聞きます。

市議会としても議論を深め、インフラ整備が整うよう行政に働きかけてみます。

Q 毎年解禁日前に河川の清掃を

行いますが、殆どのゴミが桂川の上流から流れてきます。行政で対応できないか。

（桂川漁業組合）

・桂川上流の地域では、まだ、平気で川にゴミを投げ捨てる習慣があるようですが、解決できるように働き掛けを行う必要があるかも知れません。

Q ふるさと納税の返礼品にアユ釣り一年券の出品を検討して頂きたいが。

（市議会）

・一年券の金額が7、350円です。我々としては、1万〜2万円をふるさと納税してくれた釣り客が果たしてそれで納得してくれるかが心配です。ですが、桂川が良くなると思って大月市へ納税すれば、年券をいただけるのであれば期待が持てると思います。

◆その他の意見

- ・市HPに漁協のバナーの掲載
- ・グランピングというスタイルで自然に触れあう提案や構築
- ・魅力ある未来の大月市の創造

桂川漁業協同組合（大月支部）の皆様、誠にありがとうございました。

# 大月市議会第2回定例会

# こんな事が決まりました

6月4日～6月21日（18日間）

## 今定例会の議案

### 市長提出

- 報告・・・1件
- 条例案件・・・2件
- 補正予算案件・・・1件
- その他の案件・・・1件
- 人事案件・・・2件

### 議会提出

- 条例案件・・・2件
- 請願・・・1件
- 意見書案・・・1件



## 主な議案の内容

### 条例

◎地方独立行政法人大月市立中央病院評価委員会条例の一部を改正する条例

◎地方独立行政法人大月市立中央病院の重要な財産を定める条例制定の件

◎地方独立行政法人大月市立中央病院の中期目標を定める件

病院の地方独立行政法人化へ向けての手続きを進めています

・地方独立行政法人法の改正に伴い、地方独立行政法人大月市立中央病院評価委員会条例の引用条文を改正します。

・中央病院の地方独立行政法人化に伴い、病院の重要な財産について規定します。

・中央病院の地方独立行政法人化に伴い、地方独立行政法人大月市立中央病院の中期目標を定めます。

◎大月市税条例中改正の件

中小企業の設備投資を支援します

業

(50万9千円)

◎平成30年度 大月市一般会計補正予算(第2号)

○総務費

コミュニティ助成事業補助金(自主防災組織育成助成事業)

・小佐野第二自主防災会への防災資機材の整備 (70万円)

コミュニティ助成事業補助金(一般コミュニティ助成事業)

・中初狩神楽保存会への神楽奉納備品の整備 (220万円)

・財政調整基金積立金 (17万3千円)

### 予算(補正)

◎平成29年度 大月市一般会計補正予算(第10号)

○歳入歳出予算の総額をそれぞれ119億8,893万1千円とする。

◎平成30年度 大月市一般会計補正予算(第1号)

○病院費

中央病院評価委員会運営事

## 委員会審査の様子

### ●総務産業常任委員会

ふるさと納税について

Q 市民が他市町村へふるさと納税することにより、本市の住民税から控除される金額は。

A 平成28年度で514万2、722円です。

Q 返礼品に特産品を出すのは、循環型という意味では良いと思う。業者任せではなく、職員自らがやるのが大事。

A 業者説明会も行い、品目も増やして頑張りたい。

Q コミュニティ助成金は、どんなことに使えるのか。

A 一般コミュニティとして

て地域の伝統文化に関することや公民館活動、自治会組織等の備品購入などがあります。

また、消防団などが該当する地域防災組織育成事業や青少年育成事業、国際交流促進事業等のメニューもあります。

中央病院の独法化について

### ●社会文教常任委員会

Q 6月支給の期末勤勉手当を支払う現金はあるのか。

A 一般会計から既に補助金を繰り入れているため大丈夫です。

Q 資産評価をと思うが、債務超過になることはあるのか。

A 債務超過になりますと独法化できないということになります。そのことも踏まえ、検討は

進めているが、法律からは逸脱できないと思っ

ています。

児童扶養手当支給ミスについて

Q 過日、新聞報道にあった児童扶養手当支給ミスについて、執行部から説明を。

A 平成26年10月児童扶養手当の二重支給について担当職員から報告がありましたので、担当職員に注意を行うと共に再発防止の指示を行いました。数日後、受給者宅へ、担当課長と担当職員が訪問して事務のミス等を謝罪し返還について説明を行い、担当職員には返還請求手続きを進めるよう指示を行ったところですが、返還請求手続きができないまま一年半が経過してしまいました。現在は丁寧な説明を行い、引き続き返還を求めてまいります。

結局1年半放置してあ

ったが、この件に関して誰を処分するのか。当時の課長なのか、担当者なのか、やる気のある若い担当者を処分してやる気をなくすようなことはなるべくないようにしていただきたい。

A 処分について担当部署である総務部に報告をしています。若い職員のやる気ということもありますので、総務部には伝えていきます。

Q 税金の場合は、担保を差し押さえるが、今回もそういうことができるのか。

A こちらは同じように支払い督促をしたり、最終的には差し押さえをすることは可能です。方法等もまた検討をしていきたいと思えます。



表彰

おめでとうございます  
ごさいます

◆議員勤続10年表彰  
全国市議会議長会・山梨県市議会議長会の各会長より、議員勤続表彰を受けました。



山田善一 議員

◆お詫びと訂正

市議会だより150号の8ページに掲載した「議決結果等一覧表」の議案第1号から第6号までは、全員賛成で正しくは○印です。

また、18ページの「視察研修報告」の研修先に誤りがありました。正しい研修先は、群馬県桐生市です。

お詫びして、訂正いたします。

# 平成30年6月定例会 議決結果等一覧表

賛成○ 反対● ※山田 善一 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原	大石	相馬	奥脇	古見	小泉	西室	小原	鈴木	小林	藤本	相馬	鈴木	結 果
			剛	源廣	保政	一夫	金弥	三雄	衛	文司	章司	信保	実	力	基方	
報告	専決第2号	大月市税条例等の一部を改正する条例														承認
	専決第3号	大月市国民健康保険税条例の一部を改正する条例														
	専決第4号	大月市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例														
	専決第5号	大月市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例														
	専決第6号	大月市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決第7号	大月市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例														
	専決第8号	地方独立行政法人大月市立中央病院評価委員会条例の一部を改正する条例														
	専決第9号	平成29年度 大月市一般会計補正予算（第10号）														
	専決第10号	平成30年度 大月市一般会計補正予算（第1号）														
	条例	第36号	地方独立行政法人大月市立中央病院の重要な財産を定める条例制定の件													
第37号		大月市税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第40号		大月市議会基本条例制定の件														
第41号		大月市内循環型経済推進条例制定の件														
補正予算	第38号	平成30年度 大月市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	第39号	地方独立行政法人大月市立中央病院の中期目標を定める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
人事	第42号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第43号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件														
請願	請願第2号	大月市各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	意見書第1号	太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決



# 市政を問う

6月定例会

## 代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

### ●代表質問

(1) 西室 衛議員 (清風会&公明) 8ページ

- ①防災・減災対策の強化策は
- ②大月駅南北自由通路の計画とJR東日本との協議の状況は

(2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) 9ページ

- ①はしか(麻しん)の予防接種費用の助成の考えは
- ②卒業式ではのかま着用に対する本市の考えは

(3) 鈴木基方議員 (大月再生クラブ) 10ページ

- ①バイオマス発電所の運転開始と地元との協議は

(4) 小林信保議員 (創生おおつき) 11ページ

- ①大月桃太郎伝説を日本遺産に登録すべきでは
- ②道路が完成しないと駅北側へのホテルの建設に着工できないのか

### ●一般質問

(5) 藤本 実議員 12ページ

- ①貧困・生活困難の広がり認識は
- ②生活困難高齢者への支援はどう対応しているか

(6) 相馬 力議員 13ページ

- ①孫育て応援ブックを作成する考えは
- ②第1子目から月額5万円の子育て支援手当を支給できないか

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(9月上旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。



清風会 & 公明  
西室 衛

業を導入し、防災対策事業の推進に努めてまいりたいと考えています。

## Q 防災・減災対策の強化策は

### A 市民の生命、財産を守ることを第一に考える

**問** 大月市での災害への対応について、土砂災害対策及び中小河川の治水対策は。また、地域の防災力の強化策と防災メールの普及策は。

**答** 市長

防災・減災対策の強化についてのうち今後の土砂災

害対策・中小河川での治水対策については、市では山梨県と砂防・治山パトロールを共同実施するとともに、市内の道路法面等の危険箇所を定期的に点検しています。

今後関係機関との連携をさらに強化し、市民の生命、財産を守ることを第一に考え、国、県等の補助事

地域の防災力の強化策については、地域の防災会や防災リーダーなどの方々が災害時等においては地域防災の中心となり活動していただくこととなります。出前講座、養成講習会等により市民の防災意識を高め、過去の災害を忘れず、地域防災力強化に取り組んでまいります。

防災放送を補う防災メールの普及対策については、おおつき防災安全メールの登録者数は、現在1、221人です。この登録者をふやすために、「出前講座や」広報おおつき」により周知を図っています。さらに防災訓練や講習会等においても周知を図るとともに、緊急災害時においては全ての携帯電話に緊急速報を発信するエリアメールを有効に利用し、情報を発信してまいりたいと考えています。

## Q 大月駅南北自由通路の計画とJR東日本との協議の状況は

### A JR東日本と継続的に協議を進めていく

**問** 大月駅南北自由通路の計画とJR東日本との協議の状況は。また、先導的官民連携支援事業補助金とは。

**答** まちづくり創生課長

得ています。今後も南北自由通路の整備方針の決定に向け、JRと継続的に協議を進めていきます。

大月駅南北自由通路の計画及びJRとの協議の状況は、本市の最適案を選定し、JR東日本八王子支社に提示してまいります。

先導的官民連携支援事業の補助金の内容については、立地適正化計画に示す大月駅周辺の再整備とあわせて、観光や福祉のほか、行政サービス機能等を有する複合施設の建設に関して、新たな官民連携による事業導入への可能性調査を実施するものです。この可能性調査では、観光物産館、子育て支援施設、商業施設等を一体化させた複合施設整備の事業化とあわせ、市役所機能の移転についても調査検討を行います。

JRからは、大月駅周辺の活性化には、南北自由通路整備が必要不可欠で、橋上駅舎とセットでの整備が基本方針であり、複合施設との合築等の手法も考えられるので、本市と協議を重ねていきたいという回答を



山と川の街大月  
小原 文司

**Q** はしか（麻しん）の予防接種費用の助成の考えは

**A** 助成を検討するとともに、定期の予防接種の受診勧奨を強化します

**問** 近隣他市で行っている、はしか（麻しん）の予防接種費用の助成を本市でもすべきではないか。

**答** 市民生活部長  
麻しんは、高熱、全身の発疹等の症状を特徴とし、感染力が強く、重症化する、肺炎や脳炎等の合併症

も達と接する機会が多い小中学校教職員及び保育所・幼稚園等の職員に対して予防接種の推奨や感染に対する注意喚起を行いました。麻しんの対策としては、

個々の予防と2回の予防接種が最も効果的であり、予防接種法に基づき、1歳代の第1期と小学校就学前の第2期の2回の麻しん・風しん定期予防接種を市町村ごとに公費で実施し、感染防止に努めています。

しかし、平成元年以前に生まれた方は、公費で2回の予防接種が実施されず、抗体が低い方や麻しんに罹患したことがなく、免疫が十分でない世代があり、定期接種対象前の乳児や妊婦は、罹患すると重症化の懸念があるので、優先的に感染予防する観点から、子育て世代など予防接種の優先順位が高い対象者を中心に考慮し、成人の予防接種費用の助成を検討するとともに、定期の予防接種の受診勧奨を強化してまいります。

**Q** 卒業式ではかま着用に対する本市の考えは

**A** 保護者に対し、卒業式のはかま着用の自粛をお願いする通知をした

**問** 小学校の卒業式に出席した際、卒業女子児童の半数がはかまを着用していました。

この卒業生のはかま着用につきまして、市教育委員会では次のような問題があると考えています。卒業式が華美になり過ぎること。中学校入学も控え、経済的負担が大きいこと。早朝からの着つけや締めつけなどによる体への負担、健康面への影響が考えられること。なれない衣服を着用することによる転倒の危険性やトイレ、さらには着崩れた場合の対応等の問題などが考えられます。

**答** 学校教育課長

小学校卒業式における児童のはかま着用につきまして、最近何かと話題になっており、いろいろな意見が出ています。本市においての状況ですが、本年3月の卒業式において、猿橋小学校と七保小学校で卒業女子児童の約半数がはかま着用でした。

これらのことから、市教育委員会では、過日各小学校を通じて保護者に対し、卒業式のはかま着用の自粛をお願いする通知をしたところとです。